

令和6年度 坂東市立逆井山小学校 グランドデザイン

【学校教育目標】

自ら学び自ら考え 心豊かに たくましく生きる児童の育成

【めざす学校像】

- ・楽しく元気な学校
- ・安全で安心な学校
- ・きれいな学校

【めざす児童像】『2つのはあと』

は 話をよく聴く子／みんなのために“はたらく”子
あ 元気に“あいさつ”する子／誰とでも一緒に“あそぶ”子
と 友だちを大切にする子／ともに学ぶ子

【いばらき教育プラン】

一人一人が輝く教育立県を目指して
～子どもたちの自主性・自立性を育もう～

【茨城県総合計画】「新しい茨城」への挑戦

【坂東市教育基本方針】

『たくましく生き抜く力を育み
未来を担う人づくり』を目指して

坂東市魅力ある学校づくり推進事業

小中連携を深め、目指す児童生徒像を共有し9年間を見通した教育を行う

【猿島中学校教育目標】

『感謝の心で、主体的に行動し
豊かに表現できる生徒の育成』

【猿島中学区小中連携テーマ】

『あいさつ1番猿島中学校区』
『みんなで何かをするのは楽しい』

☆幼保小・小小・小中連携

- ・授業相互参観及び情報交換
- ・小中学生合同のあいさつ運動
- ・学習指導、生徒指導の共通実践
- ・小一プロブレム、中一ギャップの解消



<学カパワーアップチーム>

【グループ目標】

児童一人一人の学習意欲のさらなる向上と基礎・基本の定着を図る

【具体的な取組】

- ・ICT活用体系表を活用し、発達段階に応じた情報活用能力を育成する。
- ・ペア学習、トリオ学習の流れを統一する。
- ・クラス内の習熟度別学習を実施する。

【数値目標】

- ・児童：「授業が分かる」 90%以上
- ・児童：「授業で1人1台端末を活用できる」 95%以上
- ・教師：「ICT活用体系表に準じた児童の情報活用能力を身に付けることができた」 90%以上

<学校生活向上チーム>

【グループ目標】

児童同士のよりよい関係づくりを構築し、すべての児童が笑顔で生活できる学校を目指す。
※各種活動を通じた「居場所づくり」「絆づくり」

【具体的な取組】

- ・元気なあいさつ 坂東No.1(コミュニケーション)
- ・縦割り班による集団活動を計画的に実践する。
- ・高学年児童によるタブレット使用時のミニティーチャー活動の推進
- ・児童の企画を活かした係活動、委員会活動の活性化を図る。

【数値目標】

- ・児童：「みんなで何かをするのは楽しい」 85%以上
- ・教師：「児童同士の良好な人間関係が構築できた」 80%以上

【組織目標】

- 未来社会を生きる児童の学びを支える教育活動の実践
～児童一人一人を大切にする、魅力ある学校づくり～

【学校経営の方針】

スローガン「すべては子どもたちのために」

- すべての児童が笑顔で生活できる、過ごしやすい学校
- すべての保護者が安心して子どもを学ばせることのできる、信頼される学校
- すべての教職員が自信とゆとりをもって勤務できる、働きやすい学校

【学校・児童・地域の実態】課題の把握

- ・学力診断のためのテスト等
- ・学校評価・職員評価
- ・保護者アンケート

【めざす教師像】教員の資質向上

- ・一人一人を大切にする教師
- ・学び続ける教師
- ・心身ともに健康な教師



保護者や地域に信頼される学校を目指して

☆信頼される学校づくり

- ・管理下における学校事故の防止
- ・感染症や食物アレルギーへの適切な対応
- ・いじめの未然防止と迅速な対応
- ・保護者対応力の向上(誠意ある対応)

☆開かれた学校づくり

- ・情報の積極的な配信(各種便り、HP)
- ・地域人材の効果的活用(郷土教育の推進)
- ・学校評価の実施と公開
- ・学校運営協議会委員、PTA役員等との連携
- ・保護者・家庭との連携・協働の充実

☆職員研修の充実

- ・学級経営力の向上
- ・学習指導、生徒指導の充実

【働き方改革の推進】

- 業務改善による在校勤務時間の削減
- ワーク・ライフ・バランスの推進
- 当事者意識の涵養